

パナホーム株式会社 筑波工場

パナソニックグループサイトレポート2011
2010年度：2010年4月1日～2011年3月31日

所在地:	茨城県つくばみらい市台字苗代山1000番地		
敷地面積:	157580m ²	延床面積:	102996m ²
設立:	1972年7月	従業員数:	378名
ISO14001取得:	2001年3月	ISO14001最新更新:	2010年12月
主要製品:	住宅構成材		
環境コミュニケーション:	10年度		
情報開示:	1件	工場見学:	5781名
		地域貢献活動:	14件
問合せ:	技術グループ 環境管理	TEL:	0297-52-5155



ごあいさつ

パナホーム筑波工場は、茨城県南部に位置し、つくばエクスプレスみどりの駅に程近い、緑豊かな環境の中で住宅部材の生産活動を行っています。工場としても、パナホームグループ環境方針『住生活産業No.1の環境革新企業へ』のもと地球環境との共存を求めて、持続可能な社会の構築に向けて、事業活動に伴うCO2排出量の削減や循環型社会の実現、生物多様性などの新たな取り組みを全員で実施してまいります。

また事業活動の機軸に『環境』を位置づけ、『グリーンライフイノベーション』『グリーンビジネスイノベーション』の2つのイノベーション起こし、『エコアイディアの家』に相応しい住まいづくりに努めてまいります。



環境責任者
工場長 中川 恵之

2010年度の環境重点テーマの取組み

目標	成果
省エネルギー:CO2排出量2,594t	CO2排出量:2,523t (目標達成率 103%)
廃棄物+有価物削減:総発生量1,493t	総発生量:1,530t (目標達成率 97.5%)
重点削減対象化学物質削減:移動排出量16.6t	移動排出量:18.8t (目標達成率 88.4%)

製品・環境配慮ポイントの紹介



パナホームは先進の環境性能と自然の恵みを生かし、優れた技術力や設計力を結集した“エコアイディアの家”を追求しています。

工業化住宅業界で初めて150ミリピッチでプランニングできる新構法を開発し、戸建住宅『カサート』と賃貸住宅『エルメゾン フィカーサ』を発売しました。断熱効果を高めた新開発の「ダブルウォール」で冬暖かく、夏涼しい住み心地を実現。

これらは、パナソニックグループで推進する「グリーンプロダクツ(GP)」として認定されています。

また、カサートは、ソーラー発電とエネファームのW発電により、さらに環境と家計に配慮した暮らしを実現できます。

エコアイディアのあふれる
次世代の暮らしをお届けします

“エコアイディアの家”の新商品

EL MAISON
FICASA
【エルメゾン フィカーサ】

製品の環境配慮ポイント

パナソニックグループでは、製品が環境に与える影響を企画・設計段階から事前評価する「製品環境アセスメント」をもとに、「環境性能を向上させた製品・サービス」を「GP: グリーンプロダクツ」と認定しています。パナホームも、2008年度より環境性能が向上する住宅を継続的に開発することを目的に「パナホームGP 判定基準」を設定し、運用を開始しています。

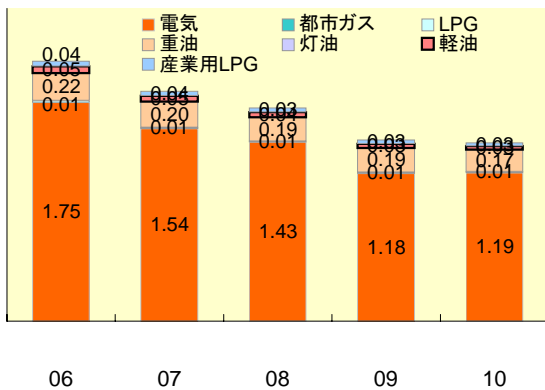
パナホームの判定基準には、住宅の環境性能や省エネ達成率を評価する“CASBEE すまい[戸建]”(建築物総合環境性能評価システム)等の公的基準等を活用しています。

→製品情報へリンク

環境パフォーマンスデータ グラフ表示年 010:20010年4月1日～2011年3月31日

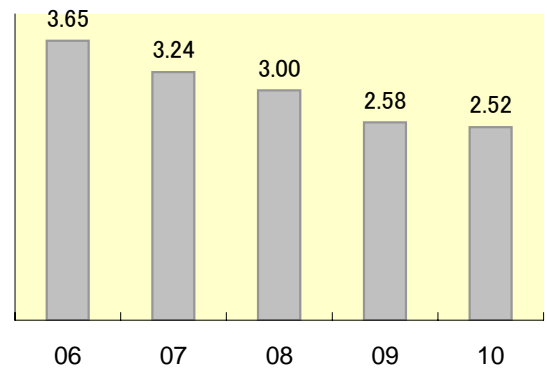
エネルギー使用量

単位:千kl



CO2排出量

単位:千t



自然エネルギー使用量

10年度

(年度)

(年度)

0.00	千kW/h
------	-------

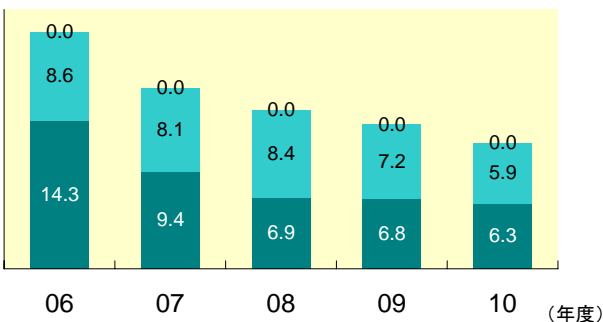
算出基準について

電機事業連合会「電気事業における環境行動計画」(2008年9月)に記載されている年度ごとの「使用端CO2排出原単位」を使用して計算。但し、2006年度以降は0.410kgCO2/kWhを固定して使用。

水の使用量

単位:千m³

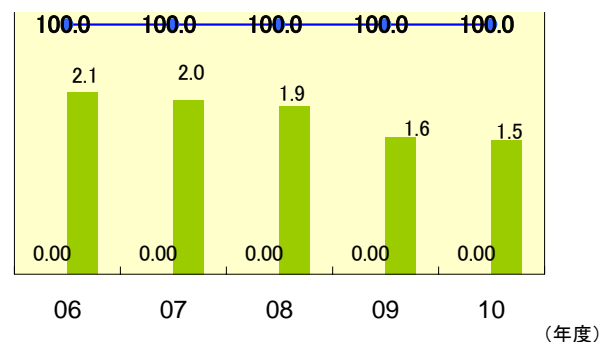
■ 上水道 ■ 工業用水 ■ 河川・湖水 ■ 地下水



産業廃棄物・有価発生物

単位:千t、%

■ 最終処分量 ■ 発生量 ● リサイクル率



循環的使用量

10年度

(年度)

400.44	m³
--------	----

雨水使用量

10年度

(年度)

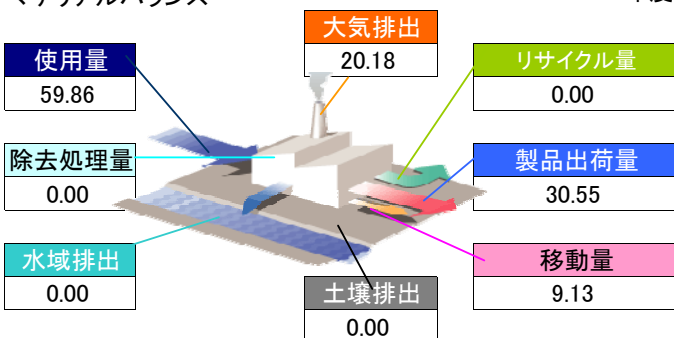
0.00	m³
------	----

化学物質

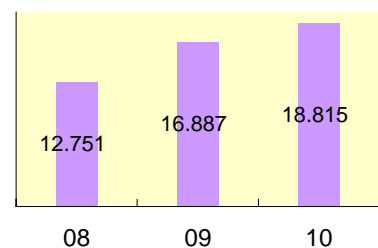
単位:t

マテリアルバランス

10年度



重点削減物質 排出・移動量



環境パフォーマンスデータの特記事項

特記事項はありません

パナソニックグループの工場化学物質管理について

http://panasonic.co.jp/eco/factory/chemical_substance/

環境法令等の順法状況 10年度

<大気汚染物質計測状況>

項目	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
SOx	Nm ³ /h	ボイラーナンバー5	17.50	10.00	0.25	0.25	1回/年
		ボイラーナンバー12	17.50	10.00	0.05	0.05	1回/年
		ボイラーナンバー20	17.50	10.00	0.10	0.10	1回/年
NOx	ppm	ボイラーナンバー5	250.00	180.00	46.00	46.00	1回/年
		ボイラーナンバー12	180.00	130.00	24.00	24.00	1回/年
		ボイラーナンバー20	180.00	130.00	25.00	25.00	1回/年
ばいじん	g/Nm ³	ボイラーナンバー5	0.30	0.20	0.01	0.01	1回/年
		ボイラーナンバー12	0.30	0.20	0.06	0.06	1回/年
		ボイラーナンバー20	0.30	0.20	0.01	0.01	1回/年

<水質汚濁物質計測状況>

項目	単位	施設名	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
COD	mg/l	合併浄化層	160.00	20.00	6.88	10.60	12回/年
BOD	mg/l	合併浄化層	160.00	20.00	2.58	6.90	12回/年
窒素	mg/l	最終放流口	120.00	40.00	4.30	4.30	1回/年
リン	mg/l	最終放流口	120.00	40.00	0.34	0.34	1回/年

<騒音・振動>

項目	単位	計測場所	法令規制値	自主規制値	実績平均値	実績最大値	計測頻度
騒音	dB	昼 工場東側	75.00	70.00	63.10	68.60	2回/年
		夜 工場北側	65.00	60.00	53.30	58.60	2回/年
振動	dB	昼 工場西側	70.00	65.00	37.30	42.20	1回/年
		夜 工場南側	65.00	60.00	31.70	35.80	1回/年

法令規制値:法または条例および協定の規制する値

N/A:法令規制対象外の項目

法令規制値超過について

報告すべき事項はありません

指導、指摘事項に対する改善状況

指導、指摘事項	改善対策
—	—
—	—
—	—

環境方針

あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome



パナホームグループ 環境方針

パナホームは、お客様のくらしの夢にお応えし、生涯のご満足をお届けするとともに、大切な資産として受け継がれていく住まいをご提供することにより、住生活産業No.1の「環境革新企業」を目指します。

そのために、

- エコアイディアの家(「環境の価値」「資産の価値」「くらしの価値」に優れた住まい)をご提供します。
- 住まいづくりに係わる全ての事業活動の資源・エネルギー使用などの環境負荷の低減を図ります。
(建材・設備の調達～住宅部材製造～建設～メンテナンス・リフォーム～解体)
- 環境関連法規制および同意したその他の要求事項を順守します。
- 環境方針を達成するために、環境目的・目標を設定し実施するとともに見直しを行います。
- 環境に係わる活動の継続的改善と汚染の予防に努めます。
- 全社員が環境活動に取り組めるよう、この方針を周知し、教育および啓発活動に努めます。

2011年4月1日改定

社長 藤井 康熙

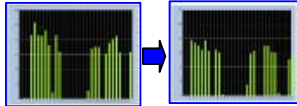
環境担当理事 中村 裕

環境負荷削減の取り組み事例



生産設備のムダ取りによるエネルギー使用量削減

F系大型外壁ライン自動ビス締め装置のビス締めドライバー(全77台)に対し、待機時の電源を遮断し加工作業時のみ電源を供給することにより非稼働時のムダ取りに努め大幅な省エネを図ることができました。



効果として実質CO2排出削減量2.1t/年を図りました。



石膏ボード リユース化推進による廃棄物削減

現在、住宅資材として石膏ボードを数社から購入していますが、以前は品質維持のため材料最下段に敷板をいれて納入頂いており、敷板を廃棄物として処理していました。改善後、敷板を納入メーカー毎に分別し各メーカーへ返却、リユースするよう変更致しました。



効果として実質廃棄物削減27t/年を図りました。

環境コミュニケーション事例

パナホーム㈱筑波工場【共存の森】事業展開

パナソニックグループ2010年度「構内緑化・共存の森」推進プランで採択され、予定通り今年6月2日に完成致しました。樹木として【シラカン・アラカシ・コナラ・クス・他】計722本植樹致しました。



完成記念として8月3日、関連会社幹部の方々をお招きしオープンセレモニーを開催致しました。

今後は、筑波地区に生存する鳥や虫が集まり共生できる環境を維持し、地球温暖化防止にも貢献できる森づくりを実践して参ります。



みどりの駅周辺美化活動

つくばエクスプレスみどりの駅から約1.2kmの歩道および駅周辺の美化ボランティア活動を行いました。組合との協賛で44名参加、ゴミ袋20袋を回収出来ました。

その結果、みどりの駅周辺が大変綺麗になり、従業員の環境に対する意識向上も図れました。この活動は今回で3年目となり筑波工場の伝統行事として今後も継続して行きます。

緊急事態への準備と対応

考え方と訓練計画

ISO14001に基づく環境マネジメントシステムにより緊急事態の特定を行ない、緊急事態対応作業標準書を作成し、環境事故発生時の拡散防止備品の適正配置、維持管理を実施しております。

この緊急事態に対しては、毎年 教育訓練計画書を作成し定期的実施しています。



緊急事態対応訓練 事例

工場内地下タンクへの重油供給時、重油が構内道路に流出したという環境事故を想定し、ソックスマットなどの拡散防止策を作業標準書に基づき実際に行い、従業員への周知徹底を図っています。